

研究活動 Research Activities

飯塚 隆 / Takashi IIZUKA

[展覧会]

「橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで— 一時を超える輝き」(2014年7月8日-9月15日) 企画構成

「黄金伝説展」(2015年10月16日-2016年1月11日) 企画準備

[著作]

『橋本コレクション 指輪』展カタログ編集、セクション解説・展示ガイド執筆、国立西洋美術館/東京新聞、2014年7月

[翻訳]

『橋本コレクション 指輪』展カタログ、セクション解説、国立西洋美術館/東京新聞、2014年7月

[研究活動]

ジャン・パオロ・パニーニ作品に関する現地調査、パリ、ローマ、2015年2月26日-3月6日

[講演]

「橋本コレクション 指輪」展(スライドトーク) 国立西洋美術館講堂、2014年7月18日、8月8日、9月5日

「橋本コレクション 指輪」展(先生のための鑑賞プログラム) 国立西洋美術館講堂、2014年8月1日

「橋本コレクション 指輪」展(ヒコ・みづのジュエリーカレッジのオリエンテーション) 国立西洋美術館講堂、2014年7月16日

「ニーベルングの指環」(Fun with Collection 2014 リング・リング、「映画とトーク」) 国立西洋美術館講堂、2014年7月27日

[雑誌・新聞記事等]

「橋本コレクション 指輪」『ゼフュロス』59号、国立西洋美術館、2014年5月

「橋本コレクション 指輪」『うえの』663号、2014年7月、pp. 34-37

[テレビ出演]

BS 日テレ「ぶらぶら美術・博物館」、「橋本コレクション 指輪」展、2014年8月15日

[外部資金]

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究(C)「ジャン・パオロ・パニーニの風景画に描かれた古代建築と古代彫刻のデータベース構築」(研究代表者)

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

[小論・報告等]

『ディスカバリー』が開く新たな美術文献検索手段『アート・ドキュメンテーション通信』102号、2014年8月、p. 20

「美術作品の来歴研究と美術館」『ECHO』(DAAD 友の会機関誌) 30号、2014年11月、pp. 28-30

「美術書誌のいま — 革新的な美術文献探索システム『アート・ディ

スカバリー・グループ目録』『アートスケープ』2014年11月01日号(web マガジン)

「IFLA リヨン大会、『美術書誌の未来』会議参加報告 — 欧州会議にみる美術図書館の専門性」『アート・ドキュメンテーション通信』104号、2015年1月、pp. 11-12

[学会発表・研究会]

「美術館の情報資料室はどのような情報を扱っているか」筑波大学知識情報特論講演、筑波大学、2014年10月22日

「アート・ディスカバリー・グループ目録(Art Discovery Group Catalogue)と美術書誌の現在」日本図書館協会情報組織化研究グループ月例研究会報告、大阪学院大学、2014年11月15日

「美術作品の記録を残すということ — 美術館アーカイブズの視点から」京都市立芸術大学芸術資源研究センターシンポジウム「来たるべきアート・アーカイブ 大学と美術館の役割」発表、国立新美術館、2014年11月24日

「美術文献情報をめぐる最近の国際動向 — 米国ゲティ研究所と『アート・ディスカバリー・グループ目録』を中心に」東京文化財研究所研究会報告、2015年1月27日

「ミュージアムと西洋美術作品情報 — 近年注目される来歴研究という課題」文化資源デジタル・アーカイブズに関するワークショップ「ミュージアムにおけるデジタル・アーカイブズの整備と活用」研究報告、国立民族学博物館、2015年2月27日

『『全国美術館会議会員館 収藏品目録総覧2014』作成にいたる経緯と作業経過報告』全国美術館会議第29回学芸員研修会「美術館はホームページでどのような作品情報を発信すべきか? / 学芸員は美術情報資料をどこで入手するのか?」報告、国立西洋美術館、2015年3月9日

[外部資金]

平成26年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館所蔵作品データベース」(研究代表者)

平成26年度科学研究費補助金基盤研究(B)「ミュージアムと研究機関の協働による制作者情報の統合」(研究分担者)

[その他の活動]

明治大学 e-Learning「専門資料論」「専門図書館論」映像取材協力、国立西洋美術館研究資料センター、2014年8月4日

国立美術館のデータベース作成と公開に関するワーキング・グループ検討委員

文化関係資料アーカイブズに関する有識者会議(文化庁) 委員

アート・ドキュメンテーション学会国際交流委員長

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

[展覧会]

小企画展「私は見た：フランシスコ・デ・ゴヤの版画における夢と現実」、2014年7月8日-9月15日

[執筆]

コラム「チャールズ1世の処刑と美術」『橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで— 一時を超える輝き』展カタログ、飯塚隆編、国立西洋美術館/東京新聞、2014年、pp. 212-213

論文「幻視絵画としてのグエルチーノ作《ロレートの聖母を礼拝するシエナの聖ベルナルディーノと聖フランチェスコ》」および作品解説10点、『グエルチーノ』展カタログ、渡辺晋輔編、国立西洋美術館/TBSテレビ、2015年、pp. 27-31ほか

[翻訳]

解説一部、『橋本コレクション 指輪』展カタログ、飯塚隆編、国立西洋美術館/東京新聞、2014年

ルイーダ・フィカッチ「ローマのグエルチーノ」『グエルチーノ』展カタログ、渡辺晋輔編、国立西洋美術館/TBSテレビ、2015年、pp.17-22

[学会発表等]

「国立西洋美術館『グエルチーノ』展出品作品に関する考察」第7回近世美術研究会、日本大学芸術学部江古田キャンパス、2015年3月21日、聴講15名

[その他]

上智大学大学院非常勤講師(文化交渉学研究科)

全国美術館会議企画幹事

スペイン・ラテンアメリカ美術史学会運営委員

「スペイン・ラテンアメリカ美術史研究」査読委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

[展覧会企画]

「フェルディナント・ホドラー展」2014年10月7日-2015年1月12日

「No Museum, No Life? — これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会」東京国立近代美術館、2015年6月16日-9月13日開催予定

「クラーナハ展」(仮称)2016年10月開催予定

[執筆等]

・編著

『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館/NHK/NHKプロモーション、2014年

・エッセイ、雑文等

「イメージのリズムを感じて」(フェルディナント・ホドラー紹介)『ミセス』2014年8月号、p. 59

「フェルディナント・ホドラー展」『ゼフュロス』No. 60、2014年8月、pp. 1-2

「ことのはじめからイメージは盗まれていた — デューラーに見る複製のジレンマ」『美術手帖』2014年9月号、pp. 80-87

「フェルディナント・ホドラー展」『うえの』2014年10月号、pp. 26-28

「フェルディナント・ホドラー「木を伐る人」」『日本経済新聞』2014年11月13日

「美術館は踊る — ワイズマンが見つめる内実 映画「ナショナル・ギャラリー 英国の至宝」」『美術手帖』2015年1月号、p. 209

「日本からキュレーションの未来を考える」蔵屋美香・黒瀬陽平・松井茂各氏との共著(座談会記録)、フィルムアート社編『キュレーションの現在 — アートが「世界」を問い直す』フィルムアート社、2015年2月、pp. 186-214

[口頭発表・講演等]

・口頭発表

「フェルディナント・ホドラー — 絵画のリズムを求めて」日本スイス国交樹立150周年記念国際シンポジウム「フランス語圏スイス再考」(主催:慶應義塾大学教養研究センター)、慶應義塾大学日吉キャンパス、2014年10月11日

・講演

「フェルディナント・ホドラーについて」日本工業倶楽部、2014年9月1日

「フェルディナント・ホドラー リズムの画家」(NHK 主催自治体講演会)江東区古石場文化センター、2014年10月7日/台東区生涯学習センター、2014年11月6日/くにたち福祉会館、2014年11月13日/町田市立中央図書館、12月13日

「フェルディナント・ホドラーとは? — いま、なぜホドラーか?」(MMM 講座)DNP 銀座ビル、2014年12月5日

「リズムの震源地 — ホドラーの芸術思想とその余波」国立西洋美術館、2014年12月7日

「ある芸術家像の編集 — フェルディナント・ホドラー展の場合」鳥取大学、2015年1月30日

「リズムが求められるとき — フェルディナント・ホドラーと同時代の芸術思想」兵庫県立美術館、2015年3月8日

・トークイベント

「東洋と西洋の間に — 智・感・情の謎をめぐって」(梅津庸一氏との対談)ARATANIURANO、2014年5月24日

「山を描く、山を撮る — 自然が芸術にもたらす想像力とは」(石川直樹氏との対談)青山ブックセンター本店、2014年11月1日

「行くか、持ち込むか、創るか ~小説家と絵の物語を旅する~」(江國香織氏との対談)la kagu、2014年11月12日

「フレデリック・ワイズマン「ナショナル・ギャラリー」をめぐって」(馬淵明子・岩井希久子・寺島洋子各氏との座談会)国立西洋美術館、2014年12月23日

「日本からキュレーションの未来を(さらに)考える」(蔵屋美香・黒瀬陽平・松井茂各氏との座談会)紀伊國屋書店新宿本店、2015年3月20日

[メディア対応など]

「現代につながる、線とリズム — 「フェルディナント・ホドラー展」(倉本美津留氏との対談記録) Synodos: Academic Journalism (ウェブサイト)、2014年11月14日掲載

「生のリズム! — スイスの巨匠“ホドラー展”」(NHK 総合「ひるまほつと」)2014年11月28日放送

「スイスアルプスの奇才「フェルディナント・ホドラー展」~生命の「リズム」を描く不思議世界~」(BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」)2014年11月28日放送

「フェルディナント・ホドラー 果てしなき変遷」(NHK Eテレ「日曜美術館」)2014年11月30日放送

「フェルディナント・ホドラー展紹介」(世田谷コミュニティー FM、FMCOLO)2014年12月21日放送

[その他]

「平成26年度外国人芸術家・文化財専門家招へい事業」(招聘者:オスカー・ベッチュマン氏 [スイス芸術学研究所]) 本事業内で講演会「フェルディナント・ホドラーの象徴主義的傑作」(国立西洋美術館、2014年10月19日)を開催、など

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

[展覧会]

「ボルドー展 美と陶酔の都へ」準備(福岡市博物館:2015年1月31日-3月29日/国立西洋美術館:6月23日-9月23日)開催予定

[執筆]

コラム「アール・デコの果実と花々」、概説「主流派、アール・ヌーヴォー、アーツ・アンド・クラフツ」『橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで — 時を超える輝き』展カタログ、国立西洋美術館/

東京新聞、2014年、pp. 16, 86

作品解説『非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品』展カタログ、国立西洋美術館、2014年、cat. nos. 5, 20, 21, 22, 31

[調査・研究]

科学研究費基盤研究 (A)「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」(研究分担者)

[教育]

東京大学人文社会系研究科併任准教授 (文化資源学)

東京大学総合文化研究科非常勤講師

[その他]

科学研究費基盤研究 (A)「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」主催による講演の開催、フィリップ・フェルメイレン (ロッテルダム・エラスムス大学 文化経済学 准教授)「市場のための絵画 — ルーベンスの時代の美術と経済 —」国立西洋美術館、2015年1月11日

寺島洋子 / Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

ボランティア・プログラム指導

スクール・プログラム運営

ファミリープログラム企画・実施

平成26年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、東京国立近代美術館/国立新美術館、2014年8月4-5日

Fun with Collection 2014「リング・リング」企画実施

[口頭発表など]

「建築家・コルビュジエと国立西洋美術館」台東区区民講座、台東区総務部、2014年5月24日

「国立西洋美術館の教育活動」社会教育主事講習、国立教育政策研究所、2014年8月8日

Museum Education in Japanese Art Museums, Herbstakademie 2014, "Museum und Kulturelle Bildung," Bayerische Museumsakademie, Munchner Stadtmuseum, 9 October 2014

「利用者主体の美術館を目指して — 所蔵作品を中心とする Fun with Collection, FUN DAYの試み」全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会、女子美術大学、2014年10月17日

「オーストラリアの美術館における鑑賞教育 — 所蔵作品を活かしたスクールプログラム」共同発表、日本美術教育連合研究発表会、東京家政大学、2014年10月19日

「所蔵作品を用いた米国・豪国の鑑賞教育事情」共同発表、美術科教育学会、上越教育大学、2015年3月28日

[論文・雑誌・報告書等]

「豪国の美術館における鑑賞教育 — 所蔵作品を活かしたスクール・プログラムの調査結果に基づく一考察」共著、日本美術教育連合第48号研究論文集、2015年3月31日

報告書『国立西洋美術館の教育普及活動 1959-2012』共著編、国立西洋美術館、2015年3月31日

日独青少年指導者セミナー『博物館における青少年教育』2014報告書、共著、公益財団法人日本博物館協会、2015年3月31日

[調査・研究活動]

日本における博物館教育の歴史

科学研究費補助金基盤研究 (B)「美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育プログラムの開発」(研究分担者)

「博物館における青少年教育」に関わるドイツ派遣、2014年9月30日-10月14日

[その他の活動]

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2014年4月-2015年3月

放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2014年4月1日-7月

日本博物館協会日独交流委員会委員、2014年7月-2015年3月

美濃加茂市民ミュージアム専門委員、2013年4月1日-2015年3月31日

中田明日佳 / Asuka NAKADA

[展覧会]

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」展 (2014年4月8日-6月15日) 企画・構成

「ネーデルラントの寓意版画」展 (2014年10月7日-2015年1月12日) 企画・構成

[著作・論文・翻訳等]

『ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場』展カタログ編集、エッセイ・章解説・作品解説等執筆、エッセイ翻訳、国立西洋美術館、2014年

「ピーテル・ブリューゲル (父) 作《バツレヘムの住民登録》に関する一考察 — 作品解釈を中心に —」『国立西洋美術館研究紀要』19号、2015年3月、pp. 31-47

[雑誌記事等]

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」『うえの』660号、2014年4月、pp. 25-27

「小企画展「ネーデルラントの寓意版画」」『ゼフェュロス』60号、2014年8月

「ネーデルラントの寓意版画」『うえの』667号、2014年11月、pp. 42-43

[講演]

「カローリアリズムに映された17世紀前半のヨーロッパ」国立西洋美術館講堂、2014年5月31日

[外部資金]

科学研究費補助金基盤研究 (A)「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(連携協力者)

公益財団法人鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成「クエンティン・マセイス《両替商とその妻》 — 作品解釈と注文主像」

[その他]

アムステルダム国立美術館および大英博物館にて在外研修

袴田紘代 / Hiroyo HAKAMATA

[展覧会]

小企画展「世紀末の幻想 — 近代フランスのリトグラフとエッチング」(2015年3月17日-5月31日) 企画構成

企画展「橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで — 時を超える輝き」(2014年7月8日-9月15日) サブ担当、カタログ編集補助

企画展「ボルドー展 美と陶酔の都へ」(福岡市博物館:2015年1月31日-3月29日/国立西洋美術館:6月23日-9月23日、開催予定) サブ担当、カタログ編集補助

企画展「北斎とジャポニスム」(仮称、2017年冬開催予定) 企画準備補佐

[論文]

「19世紀末フランスにおける美術と演劇の交差:制作座の挿絵入りプログラムを中心に」2014年度東京芸術大学大学院美術研究科博士学位論文

「エドゥアール・ヴイヤールによる演劇プログラムの挿絵:一八九四年上演のイブセン劇『棟梁ソルネス』の挿絵をめぐって」『美術史』177号、2014年10月、pp. 150-166

[翻訳]

エミール・ジャック=ダルクローズ「フェルディナント・ホドラーとリズム」『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館/NHK/NHKプロモーション、2014年、pp. 222-223

作品解説分担翻訳:

『橋本コレクション 指輪』展カタログ、国立西洋美術館/東京新聞、2014年

『ボルドー展』カタログ、国立西洋美術館/TBSテレビ、2014年

[雑誌記事]

「世紀末の幻想:近代フランスのリトグラフとエッチング」『ゼフェロス』62号、2014年2月、p. 3

[調査研究]

「19世紀末フランスにおける美術と演劇の交差:挿絵入り演劇プログラムの研究」(2014年度鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成)

[講師]

中央大学クレセント・アカデミー「フランス美術散歩:風景画と庭園が語るもの」(2014年11月29日の講義担当)

村上博哉/Hiroya MURAKAMI

[著作・論文等]

「東日本大震災と文化財レスキュー」『平山郁夫展』カタログ、広島県立美術館、2014年4月、pp. 90-92

[翻訳]

ローランス・マドリーヌ「現実と象徴性—ホドラーの作品におけるヴァランティーヌ・ゴデ=ダレルの死にいたる400日」『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館/NHK/NHKプロモーション、2014年10月、pp. 209-212

[講演・シンポジウム等]

「近代の彫刻について」(常設展講座)富山県立近代美術館1階ホール、2014年10月11日

「文化財関連団体の体制構築と連携」(パネルディスカッション)平成26年度文化庁委託事業研究会「これからの文化財防災—災害への備え」東京文化財研究所セミナー室、2014年12月4日

「文化財の防災と救援 全国美術館会議の取り組み」(事例報告)「みんなでまもるミュージアム」事業第3回全体会議、九州国立博物館研修室、2015年1月21日

「全国美術館会議の活動」(事例報告)日本博物館協会研究協議会「大規模災害と博物館 阪神・淡路大震災から20年を迎えて」兵庫県立歴史博物館地階ホール、2015年1月29日

「ピカソ—伝統への挑戦」(土曜講座)ブリヂストン美術館ホール、2015年3月28日

[その他]

全国美術館会議事務局企画担当幹事

文化審議会美術品補償制度部会専門委員

宮城県美術館協議会委員

東京都美術館外部評価委員会委員

愛知県美術館美術品収集委員会委員

早稲田大学文学学術院非常勤講師

鹿島美術財団推薦委嘱者

美術史学会査読委員(第178号)

横山佐紀/Saki YOKOYAMA

[企画展関係教育普及活動]

マルチメディア機器を使った鑑賞ツールの開発(カロ展・指輪展)

講演会

先生のための鑑賞プログラム

映画上映(指輪展)

作品リスト(和英)

会場作品解説パネル(指輪展・ホドラー展・グエルチーノ展)

団体向けオリエンテーション

会場用作品解説パネル拡大文字版制作(指輪展・ホドラー展・グエルチーノ展)

障がい者のための特別鑑賞会(ホドラー展)

[常設展教育普及活動]

視覚障害者受け入れのプログラム研究・実施(都立文京盲学校、都立八王子盲学校、宮城教育大学教員)

FUN DAY 企画運営

[調査・研究活動]

科学研究費補助金基盤研究(C)「共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立」(研究代表、課題番号:24501276)

[口頭発表]

「ミュージアムにおける身体—視覚と触覚をめぐって」第50回日本比較教育学会全国大会、名古屋大学、2014年7月13日

[講演など]

『博学連携教員研修ワークショップ2014 in みんなく 学校と博物館でつくる国際理解教育—センセイもつくる・あそぶ・たのしむ—』ワークショップ「『みんなく』で世界と教室をつなごう!」ファシリテーター、国立民族学博物館、2014年8月5日

[論文・報告書など]

寺島洋子・横山佐紀・阿部祐子著『国立西洋美術館教育活動の記録1959-2012』国立西洋美術館、2014年

横山佐紀「『ことばによる記述のためのガイドライン』—視覚に障がいのある人との美術作品鑑賞のために」『立教大学博物館研究ムゼイオン』第60号、2014年、pp. 20-29

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究(C) 研究報告書『共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立』(課題番号24501276)、2015年3月、全84ページ

[教育活動]

立教大学非常勤講師

国立民族学博物館共同研究員

[受賞]

全日本博物館学会賞：『ナショナル・ポートレート・ギャラリー—その思想と歴史』(三元社、2013年)、2014年6月28日

[その他]

全国美術館会議 企画幹事

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[展覧会企画]

「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」展、2014年4月8日-6月15日

「グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家」、2015年3月3日-5月31日

[執筆]

作品解説：『非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品』展カタログ、国立西洋美術館、2014年

作品解説：『ウフィツィ美術館展 黄金のルネサンス ボッティチェリからブロンズイーノまで』カタログ、東京都美術館、2014年

論文：「グエルチーノの絵の“本物らしさ”」『グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家』カタログ、国立西洋美術館/TBSテレビ、2015年、pp. 23-26

論文英訳：“La ‘verità nei quadri di Guercino,” 『グエルチーノ展』カタログ、pp. 168-172

章解説・作品解説・人物紹介：『グエルチーノ展』カタログ

[翻訳]

ファウスト・ゴッツィ「グエルチーノ—チェントから東京へ」『グエルチーノ展』カタログ、pp. 12-16

[普及活動]

グエルチーノ展関連講演

3月10日 日本工業倶楽部

3月16日 イタリア研究会

3月27日 朝日カルチャーセンター

[雑誌等]

グエルチーノ展紹介記事

『ゼフェロス』62号、pp. 1-2

『うえの』2015年3月号、pp. 37-39

『東京・春・音楽祭—東京のオペラの森2015』pp. 134-135

[その他]

国際会議参加：International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XXIVth Convention at Washington, National Gallery of Art, May 18-23, 2014

在外研修：ポーロニャ文化財・美術館特別監督局、2014年9月1日-11月30日

紀要編集